

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	家庭支援論				
担当者氏名	山本 公彦				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・秋期

《授業の概要》

核家族化が進行する中で子どもの保育・高齢者の介護などのニーズに対して社会的サービスが対応せざるを得ない時代に入っている。家族形態の変化や社会状況を理解し、保育所・幼稚園の子育て支援や地域の様々な取り組みの現状と課題について学習する。子どもの健全育成のための家庭支援の必要性とその実際について学習し、また、保育者としての役割の重要性を認識し、実践に役立つ何かをくみ取ってくれることを期待する。

《授業の到達目標》

保育所・児童福祉施設・幼稚園などの実践現場における保護者からの相談に対して、援助・支援を行うことができる心構えと知識を習得することを目標とする。

《テキスト》

橋本真紀・山縣文治編「よくわかる家庭支援論」ミネルヴァ書房

《参考図書》

参考書等は、適宜紹介する。

《授業時間外学習》

授業後、教科書の読み直しによる復習が大切である。

《成績評価の方法》

定期試験 70%、平常点（受講態度、質問・意見の発表など） 30%

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1		オリエンテーション、家庭支援とは
2		家庭支援が求められる背景と意義。家庭支援の構造・理念・技術
3		サービス拠点と目的でみた家庭支援の類型
4		子どもと家庭、家族の機能、家族を取り巻く地域社会
5		親になるプロセス、乳幼児期の子どもと家庭
6		学童期・思春期の子どもと家庭
7		保育士による家庭支援
8		保育所・幼稚園における家庭支援
9		在宅子育て家庭への支援
10		要保護児童とその家庭への支援
11		家庭への個別的な支援
12		家庭支援に関わる法・制度
13		子どもと家庭を支える機関や人
14		子どもと家庭を支援するサービス
15		家庭支援や地域の子育て支援の実際。まとめ